

(株) 中越スパローズ

(三条市、経営規模 R5 水稻45ha、大豆15ha)



- ・ 周囲からの委託・打診の増加
- ・ 作業が集中し、新規の農地の引き受けが困難
- ・ 高齢化で労働力も減少



稲WCSをブロックローテーションに組み込んだ

1、2年目

圃場A

主食用米

圃場B

圃場C

3、4年目

大豆

5、6年目

稲WCS



稲WCS

5ha

R5

16ha

R6

大豆後作の稲WCSは

- ・ 肥料不要または軽減
- ・ 倒伏の心配不要



- ・ 農作業が平準化され、農地を拡大
 - ・ 2名を通年雇用
- さらに、
経営上のリスク分散に

酪農家4戸

(新潟市3戸、見附市1戸、乳用牛180頭程度)

- ・ 輸入牧草の価格高騰が経営を圧迫



輸入乾草の代りに稲WCSを試しに購入した



給与方法
?

台車やハンドパレットを
利用して給与



- ・ 飼料代が軽減
- さらに、
乳量が増加したところも



1 農場の概要

- (1) 所在地 : 新潟県新潟市南区味方
(2) 飼養頭数 : 経産牛 80 頭、未經産牛・育成牛 50 頭
(3) 牛舎等 : ロボット搾乳牛舎、繋ぎ飼い牛舎、乾乳牛舎、育成牛舎
(4) スタッフ : 常勤スタッフ 4 人、パート 3 人

2 農場の沿革

昭和 45 年ころ先代が酪農を開始 飼養規模 10 頭程度

昭和 54 年 補助事業で畜舎を新築し規模拡大 40 頭規模

昭和 59 年 現代表就農

平成8年 「AOBA」設立。地域の稲作農家と堆肥利用組合を共同で設立

平成10年ごろ離農酪農家の空き牛舎を利用し規模拡大 60頭規模

平成 24 年 法人化とともに搾乳ロボットを導入、経産牛を現在の規模に

平成 31 年 育成牛舎を整備し飼養を開始

令和5年 稲WCSの給与を開始

3 稲WCS供給組織からの購入量等

組織名	R 5 供給量	R 6 作付け面積・供給量
西区飼料コントラクター組合（西区）	1 7 0 ロール	5 h a
（有）米八（南区）	1 0 0 ロール	5 h a
（株）中越スパローズ（三条市）	6 0 ロール	3 0 0 ロール

4 令和5年度の稲WCSの給与状況

- (1) 給与家畜：育成牛4～23か月齢（主には8か月齢以降）
 (2) 給与回数：2回+α／日
 (3) 稲WCS給与期間：R5年9月～R6年3月
 (4) 稲WCSなし（日）：チモシー給与量(DM)200kg【20,000円】
 (5) 稲WCS有り（日）：チモシー給与量(DM)100kg【10,000円】
 稲WCS給与量(DM)100kg【3,500円】 } 合計13,500円

5 稲WCS給与についての感想

- (1) 給与家畜飼料のコスト低減
- (2) 育成牛の嗜好性はほぼ問題はなかった
- (3) ロール毎の品質にばらつきがあったが、匂いのいいものは嗜好性も良好
- (4) 発酵品質、カビの発生、雑草の混入などについて、酷い物は食べない（給与しない）
- (5) ロールを開封して品質を確認して給餌車に移し替え給与しているが手間がかかる

6 今後の取り組み予定と留意点

- (1) ロールの置き場所の確保
- (2) 供給組織との品質等に関する協議
 - ア ロール保管時の品質の確保
 - (ア) ラップ梱包回数（６巻以上）
 - (イ) 運搬時、移動時の穴あきの確認と補修
 - イ 稲WC S刈り取り時期による品質の安定
- (3) 供給組織からの供給量の拡大と、経産牛への給与